

## ウクライナ

ウクライナ

人口：約4,159万人（クリミアを除く）※1

首都：キーウ

一人当たりGDP：3,726ドル※1

国内で避難している方々：

540万人※2

ヨーロッパにて難民となっている方々：

約830万人 ※2

何らかの支援を必要としている方々：

約1,760万人※2

※1 外務省 HP ※2 OCHA Situation report, 2023 May より



## 人と人の命をつなぎ、ウクライナの人々の笑顔を取り戻す

### 世界中の ADRA 支部が ネットワークで繋げる様々な支援



2022年2月24日よりウクライナで戦争が開始してから、依然として戦火は収まりません。世界120か国にネットワークを持つADRAは、2月24日前から戦争が起こるかもしれないという情報を得ていました。即、支援準備に取りかかり、ネットワークでの対応を始めました。具体的には世界中のADRA支部間で連絡を取り合い、Emergency Response Team（緊急支援チーム）をウクライナ国内と周辺国に派遣し支援体制を確立しました。

日本、韓国、台湾、オーストラリア、ベルギー、チェコ、フランス、オーストリア、英国、スペイン、スウェーデン、スイス、デンマーク、オランダ、ノルウェー、スロバキア、アメリカ、カナダなどがウクライナと一丸となって人道支援活動を計画し、それを元にウクライナ支部を中心にウクライナ周辺国の支部が活動を開始し、ADRAの本部より緊急支援担当者を現地に派遣して実施、調整を行いました。食料、衛生用品、薬の配布、現金給付、避難場所の確保、そして安全な場所や医療機関への移動補佐、心のケアに至るまで、ウクライナ国内のほぼ全域で支援活動を展開しました。戦争からおよそ9か月間で、9,935トンの食糧を411万人の方に配付しました。

国外へ脱出する方々のサポートや、避難途中地点での食事の提供、ポーランド、ハンガリー、ルーマニア、モルドバなど、ウクライナの周辺国での受け入れ作業を、それぞれの国にあるADRA支部のスタッフとボランティアが対応しました。

私たちADRAは、世界各国において、今なお著しく損なわれている人間としての尊厳の回復と維持を回復することをポリシーの一つに掲げています。どの活動も、人と人の命をつなぎ、笑顔を取り戻すために必要な活動だと信じておりません。

2022年末からはマイナス20度まで気温が下がるウクライナで冬を乗り越えるため、暖をとれる空間を設置し、オーブン、練炭、発電機などを現地に贈呈しました。さらに、複雑な外傷や火傷を負った方の傷の回復を促進させるVAC療法（日本語では陰圧閉鎖療法と呼ばれるものです）器を、合計8台、ウクライナの病院に寄贈しました。

戦闘の続くウクライナでは、重傷を負った方や火傷に見舞われた方が頻りに病院を訪れます。陰圧閉鎖療法は、被害に遭われた方の傷口を創傷洗浄し、スポンジ状の黒いフォーム材を損傷部位の大きさに合わせて切って乗せた後、傷全体を覆うように透明な粘着フィルムを張り付け、その一部に穴をあけて連結チューブから吸引する最先端の治療法です。包帯の交換回数を減らすことも可能となります。戒厳令が敷かれ、物資の調達もままならないウクライナにおいて、この医療機器を購入することはほとんど不可能であるため、今回の支援は大変重要なものとなっています。